

様式7

「学校」部門

河川基金助成事業

「奥田川の魅力！発見・発信隊」 報告書

助成番号：2018 - 7211-016

高知県吾川郡いの町立伊野南小学校

校長 氏名 五十嵐 起世

平成30年度

助成番号	助成事業名		学校名			
2018 - 7211-016	奥田川の魅力！発見・発信隊		いの町立伊野南小学校			
校長名	五十嵐 起世	担当教諭名	細木 壮一郎			
過去の助成実績	なし あり〔助成番号： 助成事業名： 〕					
キーワード	「地域の思い」「絶滅危惧種・ベニオグラコウホネ」					
対象児童生徒	高校生（ 年 名） 中学生（ 年 名） 小学生（4年 38名）					
対象河川名	奥田川	活動場所の指定状況	なし（子どもの水辺）水辺の楽校			
年間学習計画（シラバス）における本助成事業の位置づけ						
テーマ：奥田川の魅力！発見・発信隊 ねらい：奥田川の魅力を発見し、保護者・地域に発信する。 評価の観点：奥田川について詳しく調べる活動から、奥田川の魅力を探り、発見した魅力を整理分析し、発信していく力をつける。 活動時期の予定：5月、6月、7月、10月、11月、2月						
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習（ ）	クラブ活動（ ）	学校行事	その他（ ）	合計
上記の活動時間数	40時間	時間	時間	時間	時間	時間
支援者等（複数記入可）						
外部小学校の支援	保護者の支援	外部中学校の支援	外部高校の支援	外部大学の支援	市民団体の支援	専門家等の個人の支援
河川管理者の支援	行政機関の支援 ・博物館 ・歴史資料館 ・ビジターセンター 等		関係団体等の支援 ・漁協 ・農協		企業の支援	その他
支援概要	○奥田川を管理している方々に講師としておいでいただき、奥田川についての学習や、水生生物・水生植物、水質調査等を実施した。 ・高知県中央西土木事務所、西日本科学技術研究所の方々 ○奥田川親水公園がつくられた経緯や地域の人の思いを話していただいた。 ・元 伊野南小学校 校長					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	学校全体	壁新聞を校内に掲示 奥田川リーフレットを近所の店舗に展示		
安全対策に関する課題						
・奥田川は学校の前を流れる近くの川であるが、川底に深いところがあり、川の中に入ることはできなかった。						
今後の課題・展開						
●今回の活動で、奥田川の水質に関する学習もあり、絶滅危惧種の水生植物のためにも、家庭排水やゴミの問題ことにも触れることができた。11月の「南の子発表会」では、全校児童・保護者・地域の方に、家庭での排水に気を付けることやゴミの分別についても呼びかけることはできたが、4年生みんながしっかりと意識を高め、そこが自分自身の問題であるとの認識して行動に移せていたか、については課題が残るところである。 ○今後の展開 ・今年度は、学習のまとめをいくつかのパターンで発信する場を設けることができた。次年度は、学習を通して、子どもたちの意識をより高め、自分自身のこと捉え、行動化できることをねらっていきたい。						

スタートアップ活動報告書

1.助成事業	奥田川の魅力！ 発見・発信隊		
学校名	いの町立伊野南小学校	助成番号	2018-7211-016
2.実施した教科・領域	総合的な学習の時間		
3.実施日時	平成30年5月10日～平成31年3月		
4.単元目標	地域の人の思いに触れながら、奥田川について調べる活動を通して、この川を守り地域をよりよいものにしようとする。		
5.学年 人数	38名		
6.実施場所	奥田川、奥田川親水公園		

活動指導報告実施内容 第4学年 総合的な学習の時間「奥田川の魅力！ 発見・発信隊」全40時

第1次	学習活動：学習の見通しを立てよう 3時間 ◆奥田川について知っていることを出し合い、ウェビングマップに表した。 ○昨年度の4年生が学習していたことや、毎日通学の時に見ている奥田川について知っていることを出し合い、マップに表すことで、学習内容についてのイメージを持たせた。 ◆単元のゴールを決め、学習の計画をたてることで見通しを持った。 <これからの学習> ・マップから奥田川の生物や植物について調べる ・奥田川が整備されるおとになったいきさつを調べる ・奥田川で行われている活動を調べる <単元のゴール> ○学習したことをまとめ「奥田川祭りで発表すること」 ○学習が終わった時に「奥田川のことを知らない人に教えられる4年生になること」と確認した。	
第2次	学習活動：奥田川の様子を確かめよう 4時間 川の活動 ○奥田川はどこをどのように流れているか、確認した。 ・現在の奥田川、奥田川親水公園を実際に見に行き、看板等から分かることを見つけた。 ○奥田川の過去と現在の様子を比べてみた。 ・昔の奥田川の写真と今の奥田川を比べ、違っていることを確認した。	
第2次	学習活動：奥田川をくわしく調べよう 8時間 川の活動 ○6月5日。出前授業を依頼し、外部講師から奥田川の歴史や河川工事、水生植物等について学ぶ機会を設定した。 <出前授業の内容> ・奥田川の歴史や河川工事について ・貴重な植物、生物について ・奥田川の水質調査、他の川との比較（パックテスト） ・水中の酸素濃度の測定（溶存酸素キット） 河川工事の様子や希少植物・生物について専門家の方に教えてもらうことができた。	 
	○6月22日。元・伊野南小学校の校長先生においでいただき、「地域の人や大人の願い」や「奥田川親水公園をつくった時の活動」について語っていただいた。 ・親水公園ができたいきさつを地域の方に教えてもらった。 ○もっと地域をよくするために出来ることを考えよう ・奥田川の自然を守っていくためにできることを考え、学習のまとめとして発信するように話し合った。	

第3次	学習活動：奥田川の魅力を探り、発信しよう 10時間 ○奥田川の魅力について、各グループに分かれ、テーマごとの新聞にまとめた。 ・新聞は校内に掲示し、保護者にも見てもらった。 ○「南の子発表会」で全校児童・保護者・地域の方に向け、奥田川について学習したことや呼びかけをニュース番組のような形でまとめて、発表した。  
第4次	学習活動：奥田川祭りを開こう 12時間 ○奥田川祭りを通して、奥田川の魅力を地域の人たちに感じてもらう ・9月1日の学校運営協議会に、4年生の代表3名が参加し、「奥田川祭り」に参加して自分たちがやってみたいことを伝え、実現するようにお願いした。 ＜4年生がやりたいこと＞ ①奥田川についての学習発表（屋外ステージ） ②ベニコちゃんの販売（特別支援学級の児童） ③ウォークラリー（6つの関門） ・会場となる奥田川親水公園の草刈り・草引きの活動に、一部の児童がボランティアとして参加した。 ・ウォークラリーのブースの内容も考え、上記の①②③について役割分担をした。 ・お祭り当日は、学習発表の後、高知大学生にサポートしてもらいながらウォークラリーを行い、参加者（下級生、地域の方）に喜んでもらった。  
第5次	学習活動：奥田川の魅力を地域の人に、もっと知ってもらおう 3時間 ○奥田川の魅力についてまとめ、地域の人に見てもらおう。 ・国語の学習を活かし、ひとりひとりが自分の感じている奥田川の魅力についてリーフレットにまとめた。 ・学年の児童で投票し、見やすいリーフレットを4人分選び、カラー印刷で20部ずつ4種類、80部を作製した。多くの地域の方に見てもらうために、近くのスーパーマーケットに置いてもらえるよう、連絡しリーフレットを持参した。  表紙  内容 ※リーフレットは、2日ほどですっかりなくなり、子どもたちの学習のまとめは少しではあるが地域の方のご家庭に届いている。

注) 川で学習を行う場合は、時数の横に「川の活動」と記述する。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2018-7211-016	奥田川の魅力！ 発見・発信隊	いの町立伊野南小学校 校長 五十嵐起世



フィールド：奥田川親水公園

日 付：平成30年5月11日

コメント：事前学習

「奥田川と言えば？」とみんなで知っていることを出し合い、ウェブマッピングをしました。その中で生物や植物のことができたので、実際に奥田川に行き、今後の学習計画を立て、確認しました。



フィールド：奥田川親水公園

日 付：平成30年6月5日

コメント：出前授業

高知県中央西土木事務所と西日本科学技術研究所から10名の方においでいただきました。

奥田川が昔から氾濫しやすい川で何度も被害があったこと、改修工事がされてきたこと、貴重な植物・生物がすんでいることを、教えてもらいました。



フィールド：奥田川親水公園

日 付：平成30年6月5日

コメント：出前授業

奥田川にすんでいる生物を水槽に入れてくれました。しっかりと観察した後、触らせてもらう児童もいました。

思ったより多くの種類の生物がいて、「こんなにもある・・・」と驚いていました。



フィールド：奥田川親水公園
日 付：平成30年6月5日
コメント：出前授業

水質調査や水中の酸素濃度の測定もしました。
水質調査は、奥田川だけでなく、別の場所の水も採取して、比較調査をしました。どの場所の水がきれいなのか、一目で分かりました。
一番汚いのは、家庭排水の流れ込んでくるところの水でした。



フィールド：伊野南小学校 学校図書館
日 付：平成30年6月22日
コメント：前・伊野南小学校 校長先生から聞き取り学習

8年前に親水公園がつくられた際に一緒に活動したことをお話いただきました。よく氾濫する奥田川の改修工事に際し、希少植物の「ベニオグラコウホネ」「ナガエミクリ」を守るためどうしたらいいか、と子どもたちの意見をきいてくれたことから、奥田川親水公園が整備されることになった、とのいきさつも教えていただきました。



フィールド：伊野南小学校 校長室
日 付：平成30年9月1日
コメント：学校運営協議会での説明

3回目となる「奥田川親水公園まつり」では、こんな活動をしたいとの説明とお願いをしました。
学校運営協議会の大人が、奥田川親水公園の会を立ち上げて実行委員会の役目をしていています。



フィールド：奥田川親水公園
日 付：平成30年11月10日
コメント：大人は草刈り、子どもは草引きの清掃活動

地域のボランティアの方や保護者、教職員の大人の草刈りと並行して、「奥田川親水公園まつり」の事前準備の清掃活動を行いました。
朝の2時間、一緒に活動して、とってもきれいになりました



フィールド：伊野南小学校 体育館

日 付：平成30年11月17日

コメント：南の子発表会

奥田川について学習したことをニュース形式にまとめ、「南の子発表会」で、全校児童、保護者、地域の方に発信しました。



フィールド：奥田川親水公園

日 付：平成30年11月23日

コメント：奥田川親水公園まつり

3回目となる「奥田川親水公園まつり」でも、親水公園に設営されたステージで、学習のまとめを発表しました。



フィールド：奥田川親水公園

日 付：平成30年11月23日

コメント：奥田川親水公園まつり・

奥田川親水公園を1周するコースで、4年生がウォークラリーを行いました。

奥田川に関するクイズや絶滅危惧種の「ベニオグラコウホネ」のイラストと記念写真を取ったり、俳句をひねったりするポイントを6つ作り、6つの合格シールを集めた人には、プレゼントをしました。



フィールド：伊野南小学校 学校図書館

日 付：平成31年2月末

コメント：リーフレットづくり

国語で学習したリーフレットづくりを活かして、奥田川についてまとめたリーフレットを作成しました。

助成番号		助成事業名	学校名・学校長氏名
2018-7211-016		奥田川の魅力！ 発見・発信隊	いの町立伊野南小学校 校長 五十嵐起世
助成事業の主な実施箇所	主な実施箇所	奥田川・奥田川親水公園	